

ウィズライフ別府 桃

地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目） 取り組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	9	
理念に基づく運営	1		理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)	自己評価3項目・外部評価2項目	0	
		1 外部 評価 1	地域密着型サービスとしての理念【外部評価】 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「ごく普通の生活の中で」を地域密着サービスとして、その言葉の中に共通認識として掲げ、地域との関わり、ふれあいの中から、その人らしさを引き出し、地域の一員として暮らし続ける支援の方向性を示した理念がある	0	
		2 外部 評価 2	理念の共有と日々の取り組み【外部評価】 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を日々の生活支援時やミーティングで共有し、地域行事、町内会の日常的活動に積極的に参加し、触れ合う場所、時間を一緒に共有した実践を行っている。また、個々にその人らしさを求めるものをケア・プランに反映し「普通の生活」への支援の実践に向け取り組んでいる	0	
		3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	ご家族、地域の方々、ホームの運営や認知症高齢者への理解があり、より良い関係づくりが出来るようにご支援、ご協力をいただいている。地域からの声かけやお誘いも多く、ご家族は地域の交わりを喜んでくださいます。また、運営推進委員会では情報交換を行い、事業所への助言を参考に運営に活かしている、	0	
			2 地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)	自己評価3項目・外部評価1項目	3	
		2	4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩の時は気軽に挨拶を交わしている。町内の方がホームの草取りや、廃品回収品のホームの置き場所も知っておられ、お手伝いをしてくださいます。また、ホーム行事の声かけを行っている。	1
		5 外部 評価 3	地域とのつきあい【外部評価・重点】 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	毎月の公園清掃、老人会主催の廃品回収、地域高齢者との交流である、ふれあいサロンへの参加、食事改善推進委員会へ職員参加、年1回イベントの校区運動会へ若手職員は選手として参加、校区文化祭参加と交流を行っており、ご利用者の楽しみともなっている。	1	管理者は子ども会の役員の方とも顔なじみで相互間のよい関わりが出来るよう、職員へ情報伝達を行っている地域密着推進委員を置いている

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支 地 え 域 合 と い の	6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	運営推進委員会で民生委員との情報交換につとめ、お役に立つ姿勢を示している。ホーム独自で行う特別な事は無く、日常的な地域の活動に参加する事で支えていただいている現状です。公園の花いっぱい運動はホームより発信し、5年経過しているが、現在は地域の別府の会の方々任せにしている事が多い	1	「地域高齢者等の暮らしに役立つ事はないか」のテーマで地域密着委員会を中心にミーティング時に話し合い職員への意識付けを図っていく地域役員から地域密着委員へ働きかけがあり今年の校区夏祭りへ出店を行い地域交流に取り組む
		3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)	自己評価5項目・外部評価4項目	1	
		7 外 部 評 価 4	評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の反省や検討すべき点を議論し、各担当、各委員活動を中心としてより良いホーム作りとなるよう改善に努めている。また職員が外部評価の重要性を理解し、日々の業務やケアの在り方をそれぞれが見直すよききっかけになっている	0	
	3 理 念 を 実 践 す る た め の 制 度 の 理 解 と 活 用	8 外 部 評 価 5	運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ご利用者代表、ご家族代表、職員、民生委員、地域包括支援センター職員が参加し、ホームの2ヶ月間の活動を目的に分け報告、話し合いおこない、アドバイスやご意見、地域の活動情報をいただきサービス向上の実践に活かすよう取り組んでいる	1	前回の取り組み事項の実施状況が継続、変更している事などの確認が曖昧である為、定期的に確認をしていく。職員全員への情報共有の方法を明確にしていく
		9 外 部 評 価 6	市町村との連携【外部評価・重点】 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	校区の「認知症を知る会」(オレンジの会)活動との連携を年に2回図りボランティアとして訪問を受けている。また、区役所、保健所に出向き、社会資源活用等の相談を行い、ご家族の協力を要する時は情報を伝え、サービスの質の向上に努めている	0	
		10 外 部 評 価 7	権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	介護保険事業者主催の外部研修に参加する機会をもち、受講者を中心として、ホームで勉強会を行っている。権利擁護事業については、パンフレットを基に以前勉強会を開催した。社内研修のカリキュラムでもあるご家族へは家族会で説明を行った。必要と感ずるご家族へは制度の趣旨を管理者より説明している	0	
		11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	外部の権利擁護研修に参加や社内研修で学ぶ機会がある。また、毎月のミーティングでリスクマネジメント委員会の時間をとり、全員で話し合い、個々のご利用者のリスクを検討、共有し危機感を持って業務に臨んでいる。職員のストレス軽減のため楽しい職場作りを目標にしている	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
		4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	3		
理念に基づき 運営	4	理念を 実践す るた めの 体制	12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	事前にご利用者、ご家族の不安、疑問点を尋ね、管理者、ホーム長が説明している。場合によっては、主治医同席のもと、話し合い説明を行っている。また体験入居の期間を設け、ご利用者、ご家族、職員間のお互いの情報を共有し少しでも安心していただくよう取り組んでいる	1	できるだけ新入居の際は管理者がご本人居住宅に 出向き少しでも顔なじみとなり安心していただく 機会を作っている。
			13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる 機会を設け、それらを運営に反映させている	ケアカンファ・運営推進委委員会の場で機会を設けている。意見、不満、苦情については詳細を記録に残し、申し送りやケア・カンファで話しアイ サービス提供に繋げている。内容によっては、ケ ア・プランにも反映している。また、ご家族面談 時にも報告しご要望を伺っている	0	
			14	家族等への報告【外部評価・重点】 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動 等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時に近況報告や主治医の見解を説明してい る。遠方の方、面会の回数が少ないご家族には、 電話連絡やメールで報告している。ふれあい通信 (モニタリング)に健康状態、生活状況(評価) を記録し毎月郵送している。金銭管理は立て替え 金制度をとっており、毎月本社より、郵送で領収 書とともに明細を郵送している。	1	職員の異動や、ご利用者の入退居状況は、ふれあ い通信送り状面に載せ報告、面会時にも都度、管 理者より報告している
			15	運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる 機会を設け、それらを運営に反映させている	家族アンケートを本社で取り集め、集計、分析の 上機関紙に掲載し事業所職員他、外部者へ伝える 機会がある。運営推進委員会の場でご家族代表か ら意見又、家族会での意見要望の記録を閲覧。苦 情の芽となりうるものについては改善シートを用 い、申し送り時に再確認、ご要望については検討 しケア・プランにおとし、運営に反映させている	0	
			16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設 け、反映させている	職員からの意見、提案については、事前にアン ケートをとったり、ミーティングで話し合い、働 きやすい職場作りに努めている。また、定期的 に職員面談を実施し、個人の要望、目標について 一緒に考える機会を設けている	0	
			17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要 な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	ご利用者やご家族の状況、ご要望にあわせ、病院 受診や外出レクなどにも付き添いが出来るよう努 めている。また、緊急病院受診対応等、職員確保 にあたっては、応援体制や勤務時間調整がすみや かにできるよう職員間のコミュニケーションがで きている	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	4	18	職員の異動等による影響への配慮【外部評価】 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	企業理念に「全職員の幸福を追求する」と掲げており、職員が働きやすい環境作りを共に手をつないで実践していこうという目標から離職を抑えるひとつの目的として努力している。利用者のダメージに関しては、個人、個人へ配慮したケアを大切にしていこうとすることで安心した暮らしの支援を行っている	1	異動は職員のステップアップの目的として捉えており、運営に関わる以外は必要最小限である。退職者や異動者の送別会をご利用者と一緒に行い、納得していただく時間作りの支援をしている。
	5	人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)		自己評価6項目・外部評価4項目	2	
	5	19	人権の尊重【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	職員の採用は性別、年齢関係なく面接を行っている。事前にボランティアで実際の職場の雰囲気を体験していただき、職員へもその人なりを感じてもらっている。その上の合意で、採用に至っている。入職後は業務への協力体制をとり得意とすることを活かし、個人のカラーを損ねることなく仕事に従事出来るよう努めている。	0	
		20	人権教育・啓発活動【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	外部研修の積極的参加の取り組みをおこなっている。ミーティング時にご利用者に対して言動はもとより様々な場面での支援が抑制になっていないか、不快な思いをさせていないか等反省点、改善点を話し合う場を設けている。必要事項については、ケア・プランに反映、共有し、職員の意識向上に努めている	0	
		21	職員を育てる取り組み【外部評価】 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内外研修で新人、実践者研修の項目で年間計画を構築している。また、ホームでの疑問点、介助の仕方、研修後の報告を含めた内部勉強会を開き全職員にも浸透するよう努めている。企業の総合力で各事業所で定期的に勉強会を開催しているので、いつでも自由に参加できる機会の確保をおこなっている	0	
		22	同業者との交流を通じた向上【外部評価】 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会のブロック勉強会で他事業所の見学、意見交換、相談などの交流に参加し、ネットワークづくりに努めている。また、新人研修受講者職員の意欲と知識の向上を図りサービスへの視野の広さを養うよう努めた協議会の勉強会は職員参加が少ない	1	グループホーム協議会のブロック勉強会は職員参加を推進していく。また7/26開催の新人研修に入社1年未満の職員の参加を予定。ウィズグループ内においては、定期的に委員会、勉強会、研修会を実施しており、様々な形でスタッフとの情報交換の場ともなっている
		23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	福利厚生を利用し、ご利用者との外出レクに行ったりしてリフレッシュしている。又スタッフ同士やウィズグループ内での食事会の誘いがあり情報交換の場ともなっており、ストレス軽減、発散にも繋がっている	1	休養室の環境整備を行い、少しでも職員がゆったりと休憩される場所の確保に努める

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人材 支援の 育成	24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	管理者と職員との個人面談の実施や自己査定評の作成、研修参加や地域への取り組み等を通しての人事規定を確立している。また個々の能力開発に取り組み職員の育成を行いながら職員の向上心を養うよう努めている	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2(自己 25～34・外部 15～16)				自己評価10項目・外部評価2項目	1	
安心と信頼に向けた関係作りと支援	1 相談から 利用に至る までの関係 づくりとそ の対応	1	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)	自己評価4項目・外部評価1項目	0	
		25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	事前にご利用者、ご家族との面談、聞き取りを行い、先ず体験入居をしていただき、ご本人、ご家族、職員それぞれの状況を把握するよう努めている。また、日々の生活の中での会話、面談を行い、信頼関係を築けるよう努力している	0	
		26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ホーム見学時にご家族からの相談の時間を十分に管理者は行っている。ご利用以前に「家族情報提供書」にご家族不安材料を記入していただくようにしている。体験入居期間にご要望、困っている事をお聞きしその状況把握に努め全職員で改善策について話し合いの場を設けている	0	
		27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談内容を見極めたうえで、利用できるサービス内容の確認、他サービスの助言、紹介などを行っている。また、日々どのような支援が必要なのかを意見を出し合い考えている	0	
		28	馴染みながらのサービス利用【外部評価】 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご本人に確認していただき行っている。意思確認が難しい場合は、ご家族との面談を行いよりよいサービスの提供が出来るよう努めている。また、生活状況を観察、判断しながら、サービスを開始している	0	
	15	外部評価				
2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)				自己評価6項目・外部評価1項目	1	
係り2 継続 これ な ま ま の 支 援	29	本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	一緒に生活していく中で喜怒哀楽を共にしながら、お互いに理解を深め学ぶ事で支えあう関係作りが出来ている	0		
	外部 評価 16					

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご家族が側も職員も遠慮せずに本音での話し合い画ができるよう努めている。ホームや他ご利用者への理解もあり、家族間でのご利用者支援もあり、家事支援もいただき、相互が支えあっていく関係が築けている	0	
		31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご本人の生活状態、ADL状態に合わせながらご家族からの積極的な支援（散歩、入浴、食事介助、外出レク、会話、歌会）等をしていただいている。また、より良い環境作りへの支援（畑作り、庭木の剪定）も気持ちよくしていただいている	0	
		32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご親戚、ご友人の来訪は主に、ご家族中心に継続している。また、お電話などの場合には、職員の介入によりその関係が途切れないようにしている	1	入居当初、帰宅願望が強かったご利用者ご家族と相談を行い、個別ケアの一環としてご自宅の庭の手入れに行く日常生活支援がおこなえるよう検討する
		33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	なるべくお一人の時間を減らし、声かけを行い、ご利用者同士の関わり合いを大切にしている。お一人で静かに過ごされるのが好きな方には、一緒に本や新聞を読むなど見守りを行っている。他にくつろがれる場所の提供、席の工夫、会話の橋渡しなどにつとめている	0	
		34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	ウィズグループ内の施設へ転居されたご利用者へは、行事の際に他ご利用者と面会に行ったり、研修会等に職員が顔を出し関わりを持っている。また、ご利用者ご家族との関わりからご退去されたご家族もホームに遊びに来られては、他ご利用者と再会を楽しまれている	0	
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価 17項目・外部評価 6項目	1	
1 一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)				自己評価 3項目・外部評価 1項目	0	
1	35	思いや意向の把握【外部評価】 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人の希望、意向、思いの把握に努めている。アセスメントの実施によりご本人の生活ペースに合わせた関わりに努め、カンファレンス時に評価、検討を行っている	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1	36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご利用者の生活歴、生活状況、既往歴についてはご本人やご家族から聞き取りを行い、基本情報として各職員は把握につとめている。また、新たに得た情報も追加し、カンファレンスなどで情報の共有に努めている。新しい職員には基本情報のほかにリスク面のポイントを伝えている	0	
		37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	各職員は生活内容、基本動作、心身状態、介助の頻度について把握している。また、その方が必要とするケア・サービスについてもカンファレンス時に具体的に確認、検討している	0	
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価3項目・外部評価2項目	0		
	2	38	チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご本人の希望、ご家族の要望などをお聴きした上でカンファレンス時にADL・QOL、精神面、主治医からの助言を参考に担当者が立案したプランを基に、全スタッフの工夫や意見を話し合い、より多くの視野から成り立つ利用者本位を考えた介護計画作成に努めている	0	
		39	現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月毎に見直しを行い、その時のご本人の状態に合わせたサービスの検討を行い、場合によっては、主治医からの状態説明を交えながらご家族、担当者と話し合いの場を設けた内容の介護計画作成、また、退院後は状態の変化に応じ介護計画の作成を行っている	0	
		40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケア・プランを基にサービスの提供をおこない、介護記録にもプラン内容を主にした記録を心がけている。よって結果評価しやすく、次のプランにも実践として行えるように活かしている。ケアのポイントや気づきについては、個人申し送り記録に記入し、必要であればケアプランに反映している	0	
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価1項目・外部評価1項目	0		
	3	41	事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療連携体制をとっており、緊急時には24時間体制での往診対応が可能である。受診時、外出レクの送迎車はスムーズに手配を行っている。緊急時の受診の付き添い、入院の準備支援、入院中の様子伺いは常に行っている	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	自己評価 10 項目・外部評価 2 項目	1	
		42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	城南消防署との連携で救命救急講習会、避難訓練はご入居者、地域の方、ご家族、旧実習生との協働で行った。 民生委員や食生活改善推進委員である町内の方の家事援助で協働支援を行った	0	
	4	43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	訪問リハビリ等、専門的な分野の活用を行っている	0	
		44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	行っていない。 介護度 要支援 2 の被保険者の利用がありません	1	地域包括支援センター（いきいきセンター）へは挨拶訪問を行っている
		45	かかりつけ医の受診支援【外部評価】 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の主治医往診があり、医療面では毎週、その都度サポートしていただいている。また緊急時、受診が必要であれば、ご家族が希望されるかかりつけ医に医療連携を速やかに取り事業所との関係が築かれている。 定期受診時はホームより「定期受診記録」にホームでの状況を記入し主治医との連携を図っている	0	
		46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	主に訪問診療の主治医に相談し認知症に関する診断や治療・ケアのアドバイスを受けている。また、専門医との連携もあり治療を受けられるよう支援いただいている	0	
		47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	月2回の訪問看護の契約を行っており、ご利用者の状態を看ていただくと共に疑問点や不明な点について相談を行い、解りやすいアドバイスをいただくことで特変時にはスムーズな対応ができています	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	主治医への相談、報告を定期的に行い、情報交換に努めと共に連携を図っている。他の病院に入院されている場合には、ご家族を中心にホームと病院との情報収集に努め、主治医への報告、助言のもとに早期退院に向け対応している。	0	
		49 外部 評価 22	重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合の指針を明確にしており、契約時に説明を行っている。実際に重度化した方については、主治医同席のもと、ご家族、管理者、スタッフとの話し合いを行い、終末についても確認し、納得の上、文書にて署名を頂く事としている。上記内容については、ミーティング、カンファレンスなどで情報を共有している。	0	
		50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	主治医同席のもと、ご家族、スタッフとの話し合いの結果をふまえて事業所が出来ること、出来ない事を見極め、出来ない事については、早急に対応出来るように努めている。また、その結果をご家族にもきちんと説明を行い、ご理解、ご協力を頂いている。	0	
		51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	受入れ施設へ十分な情報の提供を行い、ご家族主治医とも何度も話し合いを行い受入れ施設の不安、ご利用者への不安軽減に努めた	0	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価38項目・外部評価11項目	2	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1	その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)		自己評価30項目・外部評価9項目	2	
		(1)	一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)	自己評価3項目・外部評価2項目	0	
		52 外部 評価 23	プライバシーの確保の徹底【外部評価】 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報の守秘義務、羞恥心の配慮、言葉遣いには、十分注意し、努めている。また、ミーティング時に抑制廃止委員会を開き、防止についても話し合いを行っている。	0	
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	ご利用者様へ関わる際は、ご本人の意思確認を行いご利用者本位を基本とした対応に努めている。また、ご本人が満足して頂ける様に日常生活をサポートしている。	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部 評価 24	日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事時間、就床、起床時間などは、一人一人のペースに合わせながら支援している。その日の生活ペースもご本人の希望に添った関わりを持つように努めている。	0	
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55～60・外部 25～26)	自己評価6項目・外部評価2項目	0	
		55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	地域交流の一環として近所の理容、美容を使用している。顔馴染の関係により、ご入居者への対応も理解して頂いている。また、外での散髪が難しい方には、ヘルパー取得者の訪問理容を受けており、ご本人の希望に添えるように努めている。	0	
		56 外部 評価 25	食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご入居者のえ嚙下食事形態を把握した上で、お好みのもの食べやすいものなどを提供し、ご本人の残存機能を活かしながら声かけ、見守りに努めている。ご入居者の重度化に伴い、準備、片付けはほとんどスタッフで行っている。	0	
		57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	ご入居者の嗜好に合わせた飲食の提供を行っている。また、ご入居者のプランへも嗜好のものを取り入れたサービス提供へと繋げている。なかなか食事をされずに気分の波がある方には、おにぎり、昆布、せんべいなどお好きな物の提供をケア・プランに位置付けている。	0	
		58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	個人個人のケアプラン添って個人の排泄パターン排泄コントロール排泄介助、声掛け、誘導を位置付けている。また、スタッフ同士でも共有する事により、失禁なくスムーズな排泄に繋がっている。オムツ類は、業者とも相談しながら定期的に検討している。	0	
		59 外部 評価 26	入浴を楽しむことができる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴介助についてもカンファレンスで検討した上せスタッフ間での連携を図り、安全な入浴出来る様支援している。入浴前後には、体調管理に努めるなど臨機応変に対応している。また、ご家族面会時にも入浴介助の支援をしていただき、ご入居者、ご家族にとってもゆっくりとした穏やかな時間になっている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	ご入居者の傾眠や睡眠時間を把握し、状態に合わせて日中の臥床時間を設けるなどしている。また、温度、体温調節、体位交換、水分補給などを行いながら安眠に繋がるよう努めている。	0	
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価6項目・外部評価2項目	1	
		61 外部 評価 27	役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ご本人の生活歴や能力に合わせながら役割や楽しみ、気晴らしを視つけQOLの向上、その人らしさを求め支援を行っている。サービス提供をケアプランに反映しながら日々の生活の中で継続している。 買い物・廃品回収、テレビ鑑賞 料理の下準備 公園清掃 フラット散歩 音楽鑑賞 悪ふざけと一緒に温泉 などなど	0	
		62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご利用者がお金を持つことは難しい状態です。職員付き添いのもとで買い物の支払いの援助を行っている、	0	
		63 外部 評価 28	日常的な外出支援【外部評価】 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎日の生活の中で散歩や買い物の支援、外食の支援を行い、重度のご利用者は玄関先で日向ぼっこ の支援をしている 外出願望が常にあるご利用者へは止めることなく見守りにて支援している	1	ご家族面談時にも散歩などの支援協力をいただいている
		64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	事前に計画を立てご家族との個人レクリエーションの支援やニーズに合わせ美術館や植物園その他、少し遠出を盛り込んだ支援をおこなっている。	0	
		65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族やご友人からのお電話やファックスを頂いた際にはご本人へのないようの説明を行う支援をしている	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	ご家族にもホームがご利用者の『家』としてご理解いただいていることから、双方が自由に居心地よく過ごされている。また、職員も自然な雰囲気での支援、関わりができています。	0		
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)			自己評価8項目・外部評価2項目	1	
		67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	毎月のミーティング時に抑制廃止委員会を開き話し合いを行い身体拘束ゼロ運動の意識下で取り組んでいる。	0		
		68 外部評価29	鍵をかけないケアの実践【外部評価】 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中はかぎをかけず支援を行っている。やむを得ずかける場合があるが、ご家族へ説明、ご了解いただき同意書をいただいている。施錠し抑制した時間退の記入を行い、他ご利用者へのリスク防止にも努めている。夜間帯は防犯のため施錠している	0		
		69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	場面ごとに在所確認を行っている。また、職員がリビングを離れる時は他職員に声かけを行い、ご入居者への見守りの徹底をし安全な生活支援を行うよう努めている	0		
		70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	ご利用者の目の届かないところに危険なものを置いたり包丁を収納している箇所はかぎを掛けている。	1	日々の業務の中で危険と思われる気付きを職員間で検討し、良い環境作りの取り組みを設備管理委員会を中心に行う	
		71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	それぞれのご入居者に予測されるリスクや過去のアクシデントへの対策をケアプランに反映させ、情報の共有を行い事故防止を図っている	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	急変時や事故発生時には、主治医からの指示も含め、緊急時マニュアルを基に迅速に対応出来るように努めている。全ての職員に対して心配蘇生法、AEDの使用方法は定期的な訓練を行っている。	0	
		73 外部 評価 30	災害対策【外部評価】 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署立会い指導による救命講習、避難訓練にはご利用者、ご家族、地域の方にも参加していただき災害対策に努めている。校区の防災訓練にもご利用者と一緒に参加し地震時の行動を学んだ。日ごろより町内会長、民生委員との交流があり、何かと配慮、協力をいただいている	0	
		74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	実際に起きてしまったヒヤリ事故もふまえて、その他のリスク視野に入れたケアプラン作成を行っている。ご家族面談にもその内容についてご報告し、ホーム側の対策についても説明している。	0	
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75~81・外部 31)	自己評価 7 項目・外部評価 1 項目	0	
		75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	既往歴ある方については、事前に主治医からの指示を受けており、体調の変化異常時には、主治医への報告を行い、チームケアの連携を図ると共に詳細を記録に残し、今後にも繋げている。	0	
		76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	各ご入居者の内服薬の種類、効能、副作用について理解し、症状変化、確認に努めている。また、内服薬変更については、周知するまで申送りを行っている。与薬前には、必ず名前、日付確認後与薬を行うように徹底している。	0	
		77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘予防には、細かい水分補給を促したり、食物繊維の多い食事提供に努めている。排便コントロールについては、主治医看護婦に相談、助言を頂きながら内服坐薬浣腸などご入居者に合わせた対応に努めている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	口腔内に残渣物が残る方については、毎食後にうがい薬での口腔ケアを実施し、清潔に努めている。その他のご利用者も就床前には、義歯をはずし、歯磨き、うがい薬でのうがいをしている。また、週1回は、歯科衛生士より口腔ケア、義歯洗浄を定期的に受けられている。	0		
		79	栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	ご入居者の咀嚼、嚥下状態既往歴に合わせながらバランスの取れた献立や食事作りに努めケアプランにも反映している。糖尿病の方には、カロリーを控えた味付けにし、ご飯のグラム数も統一している。またミキサー食の方には、嚥下しやすいようにとろみやゼリーなどで対応している。	0		
		80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染症ごとにマニュアルを作成しており、手洗い・うがいピューラックス消毒の徹底をしている。ご入居者、ご家族、外部の方にも細めに声掛けを行っている。また年一回インフルエンザ注射毎月の検体検査も実施している。	0		
		81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材を扱う場合には、必ずピューラックスでの消毒後、ペーパータオルの使用を徹底している。生野菜、魚肉は、毎日配達してもらい新鮮な食材調達を行っている。	0		
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)			自己評価 8 項目・外部評価 2 項目	0	
	2	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)			自己評価 5 項目・外部評価 2 項目	0	
	2 生活環境づくり その人らしい暮らしを支える	82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	庭、玄関先には、色彩豊かな花を植え開いたホームを目標とし入りやすい雰囲気作りに努めている。又、ご家族の方からも庭の手入をして頂いている。	0		
		83	居心地のよい共用空間づくり【外部評価】 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	環境整備を図り、照明、すだれを設置している。季節に合った壁画作成を行い定期的に季節を取り入れている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	お一人お一人に合わせて音楽やテレビ置座椅子などを使ってそれぞれご入居者の居場所作りに努めている。	0		
		85 外部評価 33	居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具を持ち込まれたり、ご家族面会時にもゆっくりと過ごせる様に、テレビやソファも設置されている。また、ご入居者の状態変化に合わせて居室の模様替えもご家族と相談しながら決めている。	0		
		86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	居室、リビングの体温計は、外気温との差がないように配慮し、温度計湿度計をチェックしその都度調整している。	0		
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	0	
		87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	エレベーターの使用を控え状態把握しながら階段での移動を促し、また車椅子はあくまで移動手段としている。ご入居者の身体機能に合わせて畳、滑り止めを使用したり、椅子、ソファを畳を使い分けている。	0		
		88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	お一人お一人に関わる際には、ご入居者の状態に合わせてコミュニケーションやスキンシップを図っている。また混乱や失敗を未然に防げるようにスタッフ間での連携を図り、ご入居者が自立した生活で出来るよう支援している。	0		
		89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関周りのプランターなどは、ご利用者、ご家族の役割として手入を行なっている。天気が良い日には、駐車場、畑への活用をして日常生活での楽しみの場所としている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当 番号	
サービスの 成果に 関する 項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	1		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	2		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	1		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	2		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	1	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	2	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。